

小さな拠点づくりプロジェクト（伊手）

【小さな拠点】

狙い

地域住民の合意形成（地域デザイン等）のもと、住民が主体となって事業者、市と連携・役割分担した、日常生活に必要な機能・サービスの集約による地域資源を活かした持続可能な生活圏の維持

進捗状況

小さな拠点づくりプロジェクト（伊手）は、令和6年5月に伊手地区（伊手農村農業活性化協議会、伊手振興会）と「奥州市小さな拠点づくりモデル事業の実施に関する協定書」を締結しました。

6月には、旧伊手小学校を、地区センター（1F）と伊手地区活用施設（2F）に複合整備する設計業務に着手しました。

伊手地区では今後、地域運営組織を設立し、旧伊手小学校を拠点施設として、地域資源を活かした生業の創出や地域交流の促進に取り組むこととしています。



10/10のプレゼンの様子

現在、具体的な施設活用に向けた設計内容について、市と地域とで打合せを重ねおり、10月10日には、市長に対するプレゼンも行われています。

なお、複合施設は令和7年度に着工予定、供用開始は、令和8年4月を予定しています。